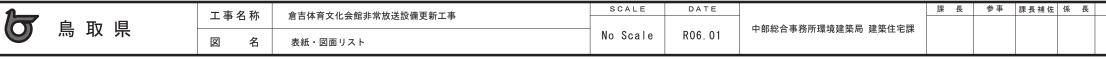
## 倉吉体育文化会館非常放送設備更新工事

	図 面 リ ス ト						
Νο	N o N A M E						
E - 0 1	表紙・図面リスト	NoScale					
E-02	電気設備工事特記仕様書(1)	NoScale					
E - 0 3	電気設備工事特記仕様書(2)	NoScale					
E-04	付近見取図、配置図	1/500					
E-05	放送設備系統図	NoScale					
E-06	体育文化会館1階平面図、監視室 非常用リモコン取付詳細図(改修前)	1/20, 1/400					
E-07	体育文化会館 2 階平面図	1/400					
E-08	機器参考姿図(改修前・後)	NoScale					





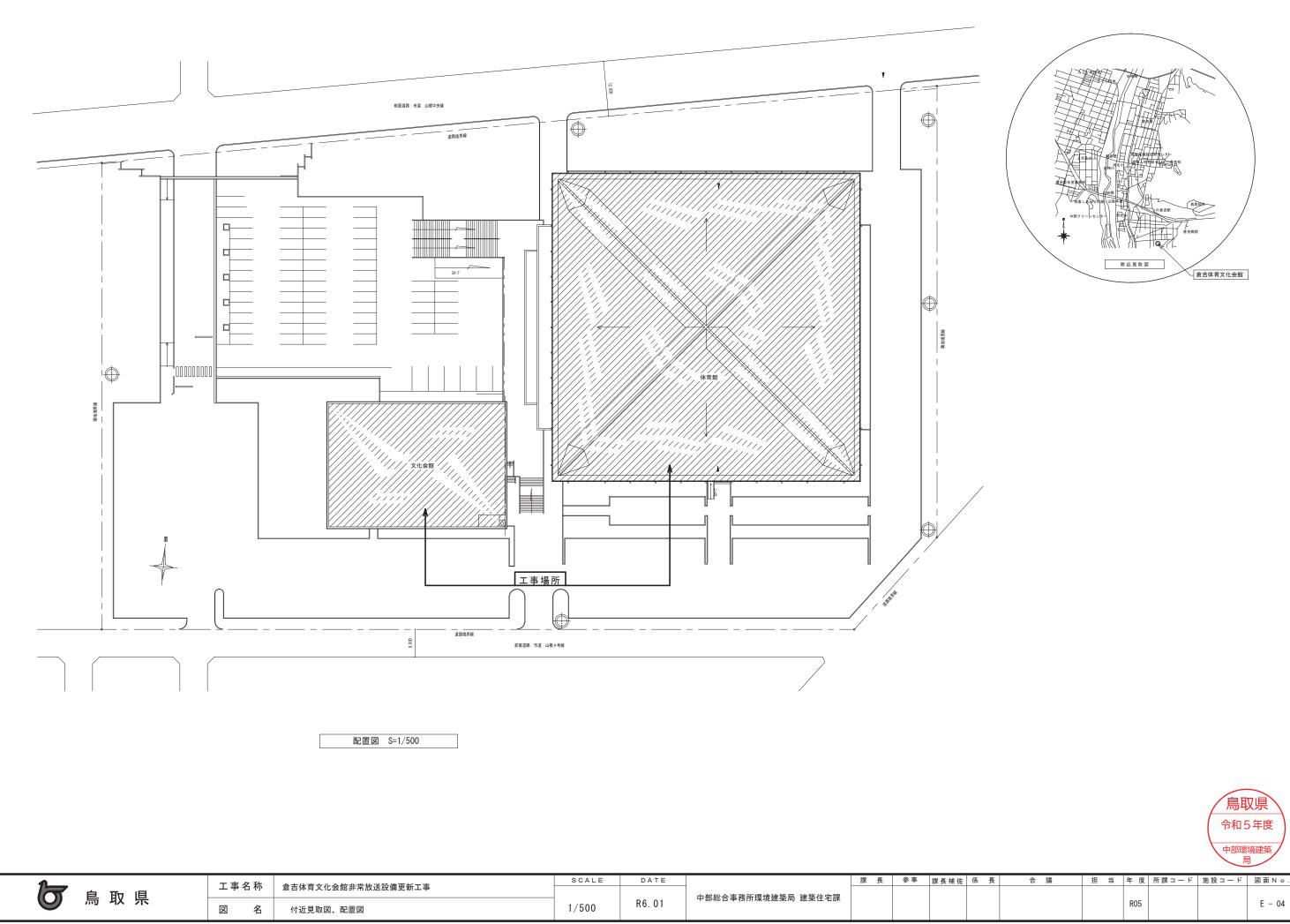
合 議	担当	年 度 所課コード	施設コード	図面 N o .
		R05		E – 01

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 I. 工 事 概 要 1 工事場所 <u></u>	項目         特記事項           電流電源装置         用途・非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ・受変電設備制御電源専用           空波電設備制御電源専用         ・非常用照明器具電源市の           空波電設備制御電源専用         ・非常用照明器具電源専用           空波電設備制御電源専用         ・非常用照明器具電源専用           市         ・ 少変電設備制御電源専用           ・交流無停電電源装置         ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ、機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、 これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ 監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は 評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材がⅢ、機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有すること の証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
2 建物概要         番号 建物名称 構造 階数 建蒸型点による (小)項         1       ()項         2       ()項         3       ()項         4       ()項	・自家発電装置       電気方式 三相3線式 ・6.6kV ・210V         発電        電気方式 三相3線式 ・6.6kV ・210V         電        形式 ・キュービクル形 ・簡易形 ・オーブン形 免電機(kVAULE)         酸       ・ホロンリート製 ・数板製(・本工事・別途工事)         (備)       ・太陽光発電装置       モジュール ・結晶シリコン ・薄膜         ・風力発電装置       ・ブロペラ形・	項 ③ 完 成 写 真 等 ④ 完 成 写 真 等 ① 完 成 図 等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、 監督職員の指示による。下記のものを提出する。 <u>区 分 分類・規格 撮影箇所 部 数 電子データの提出</u> 工事写真 カラーサービス判 各工種工程毎 ※ 1部 • 部 • 要 • 不要 完成写真 カラーサービス判 監督職員の指示による ※ 2部 • 部 • 要 • 不要 次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
5       ( )項         3 工事種目 (● 印の付いたものが対象工事種目)         ・電 灯 設 備       1       2       3       4       5       屋外       備       考         ・電 灯 設 備       1       2       3       4       5       屋外       備       考         ・電 灯 設 備       1       2       3       4       5       屋外       備       考         ・電 欠 設 備       1	●構内情報通信網設備       ・機器 ・配管のみ ・配管及び配線         ●構内情報通信網設備       ・機器 ・配管のみ ・配管及び配線         ●情報表示設備       ・方方         ●防薬 方 設備       ・増幅器 ・スピーカー ・ブロジェクタ ・スクリーン ・その他()         ●防薬 支援設備       ・皆藤湯装置 ・身体障害者用インターホン装置 ・トイレ等呼出し装置         ●テレビ共同受信設備       ・音声誘導装置 ・身体障害者用インターホン装置 ・トイレ等呼出し装置         ●テレビ共同受信設備       ・アンテナ(・UHF ・BS ・CS) ・CATV         ●監視カメラ設備       ・ビデオモニタ ・タイムラブスVTR ・配管のみ ・配管及び配線         ●転車場管制設備       ・光線式 ・ルーブコイル式         ●自動防鎖設備       ・受信機(・P型 ・R型) ・副受信機 ・中継器 ・感知器 ・         ・自動防鎖設備       ・空橋換(・P型 ・R型) ・副受信機 ・中継器 ・感知器 ・		区分         名         称         部数           ※完成図原図         完成図 ・ 原紙 ② CADデータ ③ PDFデータ 施工図 ・ 原紙 ④ CADデータ ④ PDFデータ 1         1           ※完成図 2つ折製本         ※完成図 ※完成図 (縮小版) ・施工図         ※ 2部           ※完成図書         ④ 完成図 (縮小版)         ※ 2部           ※名 4版市販ファイル ● A 4版黒表紙製本         ④ 試験成績書         ※ 2部           ※保守口関する指導案内書 ※ 生要機器一覧表         ※ 2部           ※保証書         1         部
・構内交換設備        ・情報表示設備        ・情報表示設備        ・映像・音響設備        ・酸像・音響設備        ・酸像・音響設備        ・酸像・音響設備        ・酸像・音響設備        ・酸像・音響設備        ・酸像・音響設備        ・酸像・音響設備        ・        ・        ・        ・        ・        ・        ・        ・        ・        ・        ・        ・        ・	・非 常 警 報 設 備         ・ガス漏れ火災警報設備         ・ガス漏れ火災警報設備         ・ガス漏れ火災警報設備         ・ガス漏れ火災警報設備         ・酸          ・使用          ・ガス漏れ火災警報設備         ・型          ・使用          ・ボス漏れ火災警報設備         ・登報盤         ・支援          ・回線         ・単独         ・火報受信機と一体         ・LPガス用         ・都市ガス用)         ・動力設備         ・受変電設備         ・自家発電設備         ・防災設備         ・照明制御         ・給排水設備         ・空調設備         ・アナログ方式         ・デジタル方式         ・             作構         ・電         気         方         式         ・         二           三相3線式(         ・         6.6 kV         ・200V         ・         単相2線式(         ・100V         ・200V         )         ・         単相3線式100/200V         ・         単相2線式         (         ・100V         ・200V         )         ・	11他工事との取合い	・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。         他工事との取合い       電気設備機械設備建築         ・ コンクリート壁、床、梁貫通部       補強・・※         ・ コンクリート壁、床、梁貫通部       イリーブ・箱入※・・         ・ 鉄骨造の開口及び補強       ・         ・ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)       ※・・         ・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地       ※・・         ・ 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の       仮枠※・         ・ 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の       仮枠
・中央監視制御設備            ・医療関係設備            ・構内配電線路            ・構内通信線路            ・方レビ電波障害防除設備            ・提接            ・建築工事	線     ・      ・     ・       ・     ・     ・     ・     ・       ・   <		補強     補     強     ●     ※       ● OA フロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強     ●     ●     ※       ● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材     切     り     込み     ※       ● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ     ●     ※       ● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)     ●     ●     ※       ● 機器付属の制御室及び操作盤から機器までの配線     ●     ※     ●       ● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線     ●     ※     ●       ● テレビアンテナ     基     礎     ●     ※
4       設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)         ③の付いたものを適用する。         項目       特記事項         電気方式       幹線・単相3線式100/200V ・直流2線式100V         次       ・非常用照明器具         ・非常用照明器具       ・100V ・200V)・直流2線式100V         光源・LED・蛍光灯・白魚灯       電源・電池内蔵形 ・電源別置形	<ul> <li>田.特記仕様</li> <li>1 一般事項</li> <li>(1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国主交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、④印の付いたものによる。</li> <li>④公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)</li> <li>④公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)</li> <li>④公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)</li> <li>④公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)</li> <li>(2)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。</li> <li>(3)機械設備工事及び建築工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。</li> </ul>	①2 工事用電力・水・その他 ①3 表 示 板	アンカーボルト     ※     ●       ● 天井点検口     ●     ●       ● 自立型制御盤の基礎     ●     ●       ● 機器類のコンクリート基礎     屋内・屋外設置     ※     ●       ● 機器類のコンクリート基礎     屋上設置     ●     ●       本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。     設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する)     ※       ※ 工事表示板     ●     お願い表示板       900     1.200
備       ・誘       導       灯       ・避難口       ・階段通路       ・廊下通路       ・室内通路         動力 方数 備       ・電       気       方       式       幹線       ・三相3線式200V       ・単相2線式200V       ・単相3線式100/200V         合       電       気       方       式       幹線       ・三相3線式200V       ・単相2線式(・100V       ・200V)         電       ・受       雷       部       ・突針       ・様上け導体       ・その他金属体()       )         ・選       雷       導       線       ・建築構造体利用       ・引下げ導線         ・接       地       極       ・建築構造体利用       ・接地極理設	2       特記事項         (1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。         (2)特記事項のうち選択する事項は ④の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ③の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ③の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ③の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ③の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ④の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●のけたものを適用する。         ●のけかない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※印の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※日の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※日の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※日の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※日の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※日の付いたものを適用する。         ●のけかない場合は、※日のけかためのする。         ●のけかない場合は、         ●のけかない場合は、         ●のけかない場合は、         ●のけかない場合は、         ●のけかない場合は、         ●のけかない場合は、         ●のけかないのまる。 <t< th=""><th></th><th>001         建築工事中         地色白         地白         1000000000000000000000000000000000000</th></t<>		001         建築工事中         地色白         地白         1000000000000000000000000000000000000
受       ・       電       気       方       式       高圧       三相3線式       6.6 kV         (低       ・       契       約       電       力       改修工事       既存設備      kW         (低       方       式       ・       屋内形       ・       100 kW以上500 kW未満       • 500 kW以上         (低       方       式       ・       屋内形       ・       20 kW       ・         (価       方       式       ・       屋内形       ・       20 kW       ・       • 500 kW以上         (価       第       価       方       式       ・       星内形       ・       20 kW         (価       第       価       ケ       エービクルズ配電盤(・       ●       PF形       ●       CB - 1形       ●       CB - 2形       ●         (価       第       価       ボ       エービクル式配電盤(・       ●       FF形       ●       CB - 1形       ●       CB - 2形       ●       ●       高圧スイッチギア、変圧器盤(CB - 3形)       変圧器 三相       kVA、単相       kVA       ●       油入       ●       モールド       主遮断器       ●       限流ビューズ       ●       VCB       ●       ●       ●       ●       ●       ●       ●       ●       ●       ●       ●<	2 電 気 保 安 技 術 者       工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。         なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る	14 足 場	
上         工事名称         倉吉体育文化会館           図         名         電気設備工事特記	SCALE     DATE       常放送設備更新工事     No Scale     R06.01	2課 長 参事 課長補 2課	佐 係 長     合 議     担 当 年度     所課コード     施設コード     図面 N o           R05

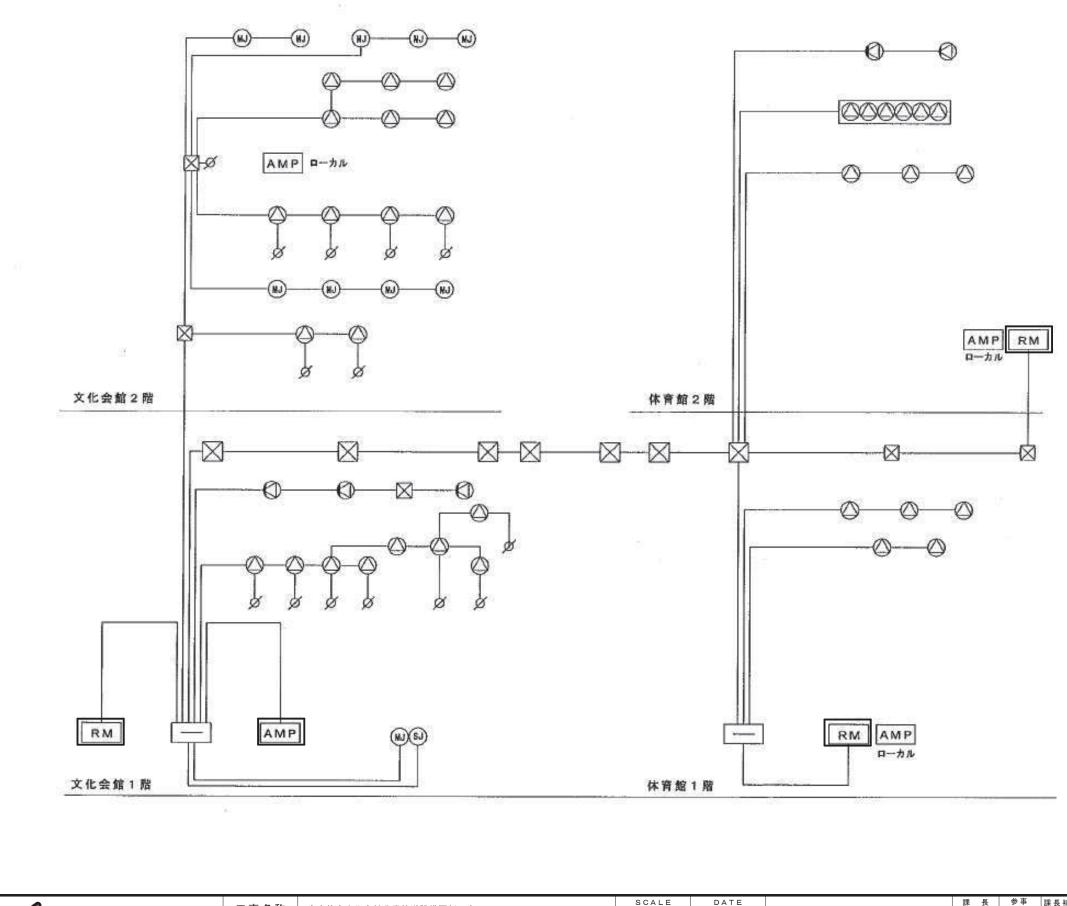


(15)工事用 仮 設 物	構内につくることが ※ できる (●)できない	(30)補修など	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。	(10) (1)増	幅 器	形式 ( ● 卓上	-形 (・) ラック形 )		(400W) †	±能(● Hi形	• Lo形)
Ũ	埋め戻し土 ※根切土の中の良質土 ・山砂の類()・ ・ 真砂土()	31は つ り	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	拡 声 設 備			出力配線と外部配管(壁ボッ				
17 電線 類	建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処埋 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積	32 はつり工事における非破壊検査		11 1 音 声 誘	導装置	検出方式 ( ●	磁気方式 • 無線方式	<ul> <li>● 画像</li> </ul>	認識方式 )		
1/电 称 現	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。	般 33 あと施工アンカー	<ol> <li>加工後確認試験 ※ 行わない</li> <li>行う</li> <li>試験方法 引張試験機による引張試験</li> </ol>	誘 導 支 援							
	通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。	共	確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上	12			型1級25回線(蓄積型))	•	0		
	盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。	通	試験箇所数 1施工単位に対し1本以上	2 自 動 閉 災 │	鎖設備		※ ラッチ式 ● 電磁式 一田 ( ※ 雪動復帰 ●				
-	ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。	事	対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	報知			一用( ※ 電動復帰 ● ター用( ※ 別途工事 ●				
般 18 電 線 本 数 ・ 管 路 等	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変	<sup>4</sup>		20 備 3 ガス漏れ火	く 災 警 報 設 備		€井取付形 ● 壁取付形				
共 19屋外露出配管の仕上げ	更してもさしつかえない。 屋外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ[めっき付着量 300g/㎡以上]と	(35)火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで [概ね工期+21日]とする。)	1 th T	+ ±	曲軌源さ ※	GL-300以上、舗装の		<u>  昭般下 - 200 ド</u> ト	レナス	
通	座が踏山配皆(序列電淋目)で空衣を1147ない場合は、冷酷単和のうさはエリーのうされる単 300g/11以上」と する。	36 鳥取県公共事業環境配慮指針			ЛД		GL-600以上(• 耳				)
<ul> <li>a</li> <li>a</li></ul>	塗装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ● 機械室 ● 居室 ( ) ●	37 建 築 物 省 エ ネ 法		2 地	中 箱	蓋の記号表示は	は鋳型流込み(鳥取県又は鳥	鳥取県章、及び	び用途を記入)とし	、ハンドホール内	
21 波付硬質合成樹脂管(FEP) 項	波付硬質合成樹脂管 (FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。			13 3高圧負;	<b>共 明 明 聖</b>		〔行う。アスファルト舗装面 • 軽耐塩形 ● 重耐塩形				
22 フラッシュプレートの材質		1 照 明 器 具		構	10] [开] [オ] 16급	<ul> <li>) 別頭形()</li> <li>) 避雷器内蔵</li> </ul>		,, •,	地和胚电 备门 ( 次	刀间庄 • 燕	四日 )
	シール等を貼付し、用途を表示する。	1	LEDの光源色 (※昼白色 ● 温白色 ● 電球色)	内 配		※ 別置制御装	置までの制御ケーブルを付属	属する。			
25 耐震施工	ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無 (素地仕上) ●有(指定色仕上) 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1 k N 以下の一般機器について、製造	2 一 般 照 明 の 照 度 測 定 電 3 非常用 照 明 の 照 度 測 定		■ 線 4 高圧ケーブ 路	ブルの端末部	高圧ケーブルの	)両端部にシースの縮み対策	¢(熱伸縮テ·	ープによるシースず	れ止め対策等)を	を行う。
	者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。	灯 4 照明制御の照度測定等		5 高圧ケーブル		<ul> <li>一般形</li> </ul>					
	1)機器の据付け及び取付け	丧	員の指示による。	6標識		※ 高圧 ●	低上 こは配線用遮断器(トリップ	プロ総合にナトー)	マけカットアウトフ	イッチ(麦通しト	
	設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。		照度測定時期 100%点灯時(※ 夜間 ● 昼間)	בה, מש גדת ל		だし、ガーデン		TREASED /	XI&7 7 1-7 -7 1-X	- 1 9 7 (来通し)	
	設計用標準水平震度 ● 特定の施設 ● 一般の施設	備	調光制御点灯時( ※ 夜間   ※ 昼間 )	14 1施工	方法	埋設深さ ※	GL-300以上、舗装の	りある場合は	路盤下一300以上	とする。	
	設置場所         機器種別         重要機器         一般機器         一般機器         一般機器         一般機器         1.5         1.0	2 1 機 器 へ の 接 続	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事	_ 構			GL-600以上( •	•	)		
	上 層 階 防振支持の機器 2.0 2.0 1.5	動力 設備		通 2 地 信 線	中 箱		t鋳型流込み(鳥取県又は鳥 〔行う。アスファルト舗装面				
	屋上及び塔屋         別Acrossan         1.5         1.0		<ul> <li>工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。</li> </ul>	3標 識	シート		● 電話 ● CAT\				
	機器 1.0 0.6	3 コース 地 抵 抗 半 の 測 定 雷保護 2 外部雷保護設備接地システム		1調査 15	仕様	図面に記載され	ιていない事項は、すべて(	(一社)日本	CATV技術協会の	「建造物によるう	テレビ受信障害調査要領」
	中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.0	設備		テレ			こよるテレビ受信障害調査要 ± 2	¿領(地上デ)	ジタル放送)」の最	新版により調査を	を行い、同協会の技術審査
	水槽類         1.0         0.6           機器         0.6         0.4	1 変 圧 器 移 動 車 輪	75kVA以上に取付。	- ビー 電 2 テレビ電波受	信隨害調杏時期	を受けるものと ※ 事前 ●	:する。 中間 ※ 事後				
	地下及び1階 防振支持の機器 1.0	受変電 2 デ マ ン ド 監 視 装 置 設 備		2 3 受信する受信		小 手助 中継局	; 加 · 二 : 二 : : : : : : : : : : : : : : : :				
	水 槽 類 1.5 1.0 0.6	設備 3 盤 内 照 明	前・後に設置する。	障		中継局	波: 地点				
	上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階建:上層3階、13階以上:上層4階	5 1 交 流 無 停 電 電 源 装 置		- 調 4 報 告 書 3	提出部数	※ 事前 3部	● 中間 部 ※ 哥	事後 3部			
	中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む	電力貯蔵 設備 (UPS)	方式( ● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式 )	1 機 器 取 付 ;	高						
	小雨蒸に6~2000000000000000000000000000000000000						§3m以上の場合及び機器の	)使用に支障;			
	<ul> <li>● 火災報知受信機</li> <li>● 中央監視制御装置</li> <li>● 通信総合盤</li> <li>●</li> </ul>	1 自家発電装置		名	称	測 点	取付高(mm) 1,800~2,000		名 称	測 点	取付高(mm) 天井高×0.9
	2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	<ul> <li>ディーゼル発電装置</li> <li>ガスエンジン発電装置</li> </ul>	出力 ( kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無 ) 保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無 ) 外部用端子 (● 要 ● 不要 )	<u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	引込開閉器	地上~窓中心 地上~中心	1,800~2,200			床上~中心	1,300
	3)設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	発 ● ガスタービン発電装置	減圧水槽及び初期注水槽の材質 ( ● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製 )					- 表 -	ベル、ブザー、チャイ	× //	2, 300
26 接 地 極	版」((一財)日本建築センター)を参考にする。 接地極の材料は次による。	電 ● 熱 併 給 発 電 装 置	オイルタンク(● 地下 ● 屋内)	分電盤・	・OA盤・実験盤	床上~中心	1,500(上端1,900以下)		そ付押ボタン (一般)	"	1, 300
20 10 12		設●燃料電池発電装置	据付:機械設備工事標準図(・施工30、32(タンク室無し)・施工31、33(タンク室有り))		スイッチ	"	1, 300		電源箱	床上~下端	fi 300
	●共同接地 E <sub>A</sub> E <sub>D</sub> 10Ω以下 EB×3連−2組	備	<ul> <li>燃料小出槽( &lt; </li> <li>※):返油ボンブのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。</li> <li>材質( ● 鋼板製 ● ステンレス製 )</li> </ul>	16	<ul><li>(多機能トイレ)</li><li>セント(一般)</li></ul>	"	1, 100				
	●共同接地		「「」(・」」」「「」」(・「」」)(ステレンス会)		ッ (和室)	"	150	- <u></u>	部受付用インターホン(子)	(約) 標2	単図による
			排気系統配管断熱材の厚さ ( mm) ばい煙測定口 ( ● 設ける ● 設けない )	₹ 	" (台上)	台上~中心	150	뽀	付インターホン(上記以外	) 床上~中心	1, 300
	● B         種         E B         Ω以下         E B × 2連-2組           ● C         種         E c         1 0 Ω以下         E B × 3連-2組		排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下)	0	" (土間)	床上~中心	800~1,300	 	付押ボタン(多機能トイレ	) "	900
	● D 種 E <sub>D</sub> 100Ω以下 EB×1	2 太 陽 光 発 電 装 置			" (車椅子用)	"	900	- 支	付押ボタン(多機能トイレ	) "	300
	●高圧避雷器 E <sub>LH</sub> 10Ω以下 EB×3連−2組		公称最大出力(         kW)         耐風速(         m/s)           パワーコンディショナ(         相 線式         V)         定格容量(         kW)	他	rット(一般) v (踊場)	"	2, 100~2, 300 2, 000~2, 500	- 援 -	床転倒時用		
	● 交換機用 E、Ω以下 EB×3連−1組				・ (論:53)	鏡上端~中心	150	$+$ $ $ $\vdash$			
	● 通 信 用 E <sub>At</sub> 10Ω以下 EB×3連-2組     ● 通 信 用 E <sub>D</sub> ,及びE <sub>Da</sub> 100Ω以下 EB×1		表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ● )						機器収容箱	天井下~上望	端 200
	● 通 信 用 E <sub>D t</sub> 及びE <sub>D a</sub> 100Ω以下 EB×1     ● 電話引込口の保安器用 E <sub>L t</sub> 100Ω以下 EB×1	3 風 カ 発 電 装 置	系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ) 定格出力 ( kW)	25	掛形制御盤	床上~中心	1,500 (上端1,900以下)	ビ	テレビ端子	床上~中心	
	●測定用 E。 - EB×1				手元開閉器	"	1, 500		// (和室)	"	150
		1交換装置	<ul> <li></li></ul>		作スイッチ	"	1, 300	- 信-			1, 500
	(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)	7	停電補償時間(分)		端子盤	床上~下端	300	1  ++	受信機・副受信機	床上~操作語	
	<ul> <li>(E<sub>D</sub>, E<sub>D</sub>, E<sub>D</sub>, E<sub>D</sub>, E<sub>D</sub>, E<sub>D</sub>, G<sub>D</sub>, E<sub>D</sub>, E_D, E_D, E_D, E_D, E_D, E_D, E_D, E_D</li></ul>	[4] 2 保 安 器 用 接 地	※ 本工事 • 別途工事	構	保安器箱	天井下~上端	200	_   <u>*</u> _	機器収容箱	"	800~1,500
27屋上、屋側の支持金物等	(その)地単独の場合、と日は日一十年 ヒート300 または W-40 ヒート20029 3) ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。	内 3壁付電話機との接続		交	アウトレット	床上~中心	300		発信機	床上~中心	
28 結 露 防 止	外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。	交         4回         線         数           換         5 電         話         機		換	" (和室)	11	150	- 報-	ベル 表示灯	天井下~上的	端 200 200
29 アスベスト含有建材の処理	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。	換 5 電 話 機 設	<ul> <li>● 〒ジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台</li> </ul>		掛形親時計	床上~中心	1,500(上限1,900以下)		我小刘		200
	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等 <u> た</u> せの内容 施死 <u> し</u> せ な <u> </u> mm+ たき施用	6電話機への配線	卓上電話機1台につき次のものを見込む。	気 時	子時計	"	天井高×0.9	ガ	ガス漏れ中継器	天井下~中/	<u>ර්</u> 300
	建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲	1912 1	● ボタン電話機( ● EM-BTIEE 0.4-2P ● )(※ 15 m ● )	âŤ					検知器(都市ガス)	天井下~下9	端 300
			<ul> <li>内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C) ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ● )</li> </ul>	1/4	卦形スピーカ	床上~中心	天井高×0.9	_ 検_	// (LPガス)	床上~上端	fi 300
	※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。		● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ● )(※ 15m ● ) ● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ● )(※ 15m ● )	壁付	アッテネータ	"	1, 300				
	※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に			2 工事のため送	電線及び配電線の	近くで作業すると	さは、事前に中国電力に連	直絡し、事故「	防止に努めるものと	する。	
	関する法律、石綿障害予防規則、烏取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 <ul> <li>施工調査(分析によるアスペスト含有建材の調査)を行う。</li> </ul>	8 1 マ ル チ サ イ ン 装 置	イメージスキャナ(● 設ける ● 設けない)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
	<ul> <li>施工調査(分析によるアメヘスト含有延何の調査)を行う。</li> <li>分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</li> </ul>	8 2出退表示装置 情		□ Ⅲ. 機 材 <sup>工事に使用する機:</sup>	器及び材料は、図i	面に仕様等が明新	こしてあるものを除き、原則	則として標進	仕様書に規定するも	の及び(一社)ヶ	公共建築協会発行の「硉
	● アスベスト粉じん濃度測定を行う。		呼出機能(●有 ● 無) 方式(● 発光ダイオード ● 液晶 ● )	築材料・設備機材等						_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	$\frown$
	(測定時期: 測定場所: 測定点: )	□ 示 □ 3 時 刻 表 示 装 置 設 □ 備	親時計(●壁掛形 回線 ● ラック形 回線) 太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)	ただし、盤類は上	記によるほか以下の	の製造業者とする	Do				「鳥取県
	<ul> <li>洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更玄設備等を設ける。</li> <li>作用のざかしょう。</li> </ul>				電機工業;				機產業	(	令和5年度
	<ul> <li>作業場の養生として、処理場所をブラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</li> <li>対象箇所(</li> </ul>	9 1プロジェクタ	光出力(● I形 ● Ⅲ形 ● Ⅲ形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形)		制電(				<sup>4</sup> ー ション : 製作所		
	eranastatiti \ /	映像音響 設 備	コントラスト比 ( ● X形  ● Y形 )	179 央	<u>~</u> * '	1993	(11) 増	┉ 电 馂	, apc i⊩ 17/I	7	中部環境建築
			撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ・ 有り           SCALE         DATE	課長 参	法事 理 目 2 2 / 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	± 62 ⊨	合議	坦 业	在座話譜	コード 佐凯	<u></u> コード 図面No
	▲ 中田 旧 工事名称 倉吉体育文化会館引	=常放送設備更新工事					口哉		<u>+ 皮</u> 所課	- 『 加設	
		-様書(2)	No Scale R06.01 中部総合事務所環境建築局 建築住宅	5砞					R05		E - 03

							1	
長	合 議	担	当	年	度	所課コード	施設コード	図面No.
				RO	5			E – 03



合 議	担当	年 度	所課コード	施設コード	図面 N o .
		R05			E - 04



1		<b>- - -</b>	夕玫	金士什在在小人的北带北洋部供西部工事	SCALE	DATE		課	長	参事	課長補佐	係士	ii.
	鳥取県	上 争・	白竹	倉吉体育文化会館非常放送設備更新工事			中却纷合事改武谭培建筑日 建筑分支部						
	<b>局                                    </b>	図	名	放送設備系統図	No Scale	R6.01	中部総合事務所環境建築局 建築住宅課						

## 特記

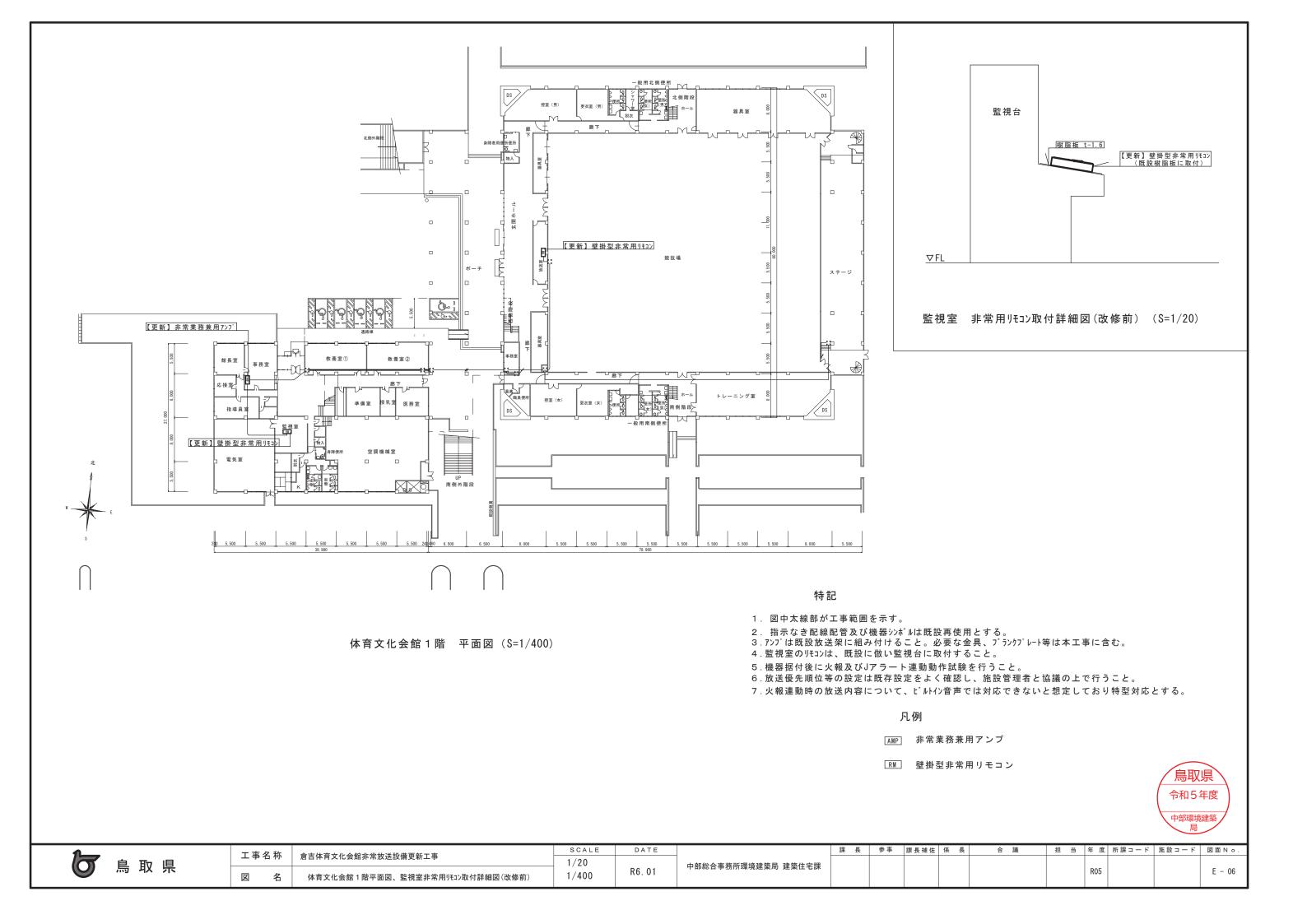
1. 図中太線で囲った機器を更新する。
 2. 指示なき配線配管及び機器シンボルは既設再使用とする。

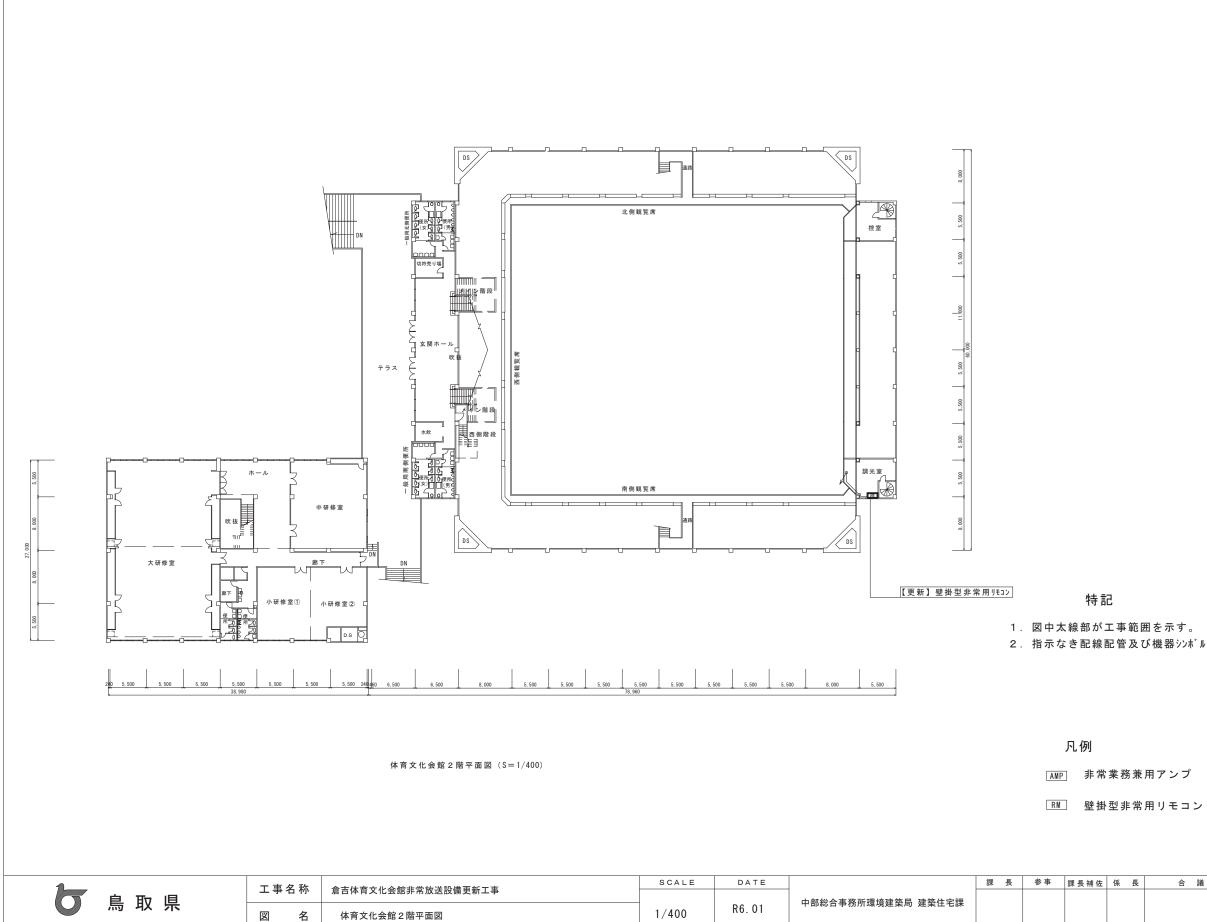
## 凡例

AMP	非常業務兼用アンプ	1台更新
RM	壁掛型非常用リモコン	3台更新
AMP ローカ	業務放送用アンプ ル	対象外



合議	担	当	年 度	所課コード	施設コード	図面 N o .
			R05			E – 05



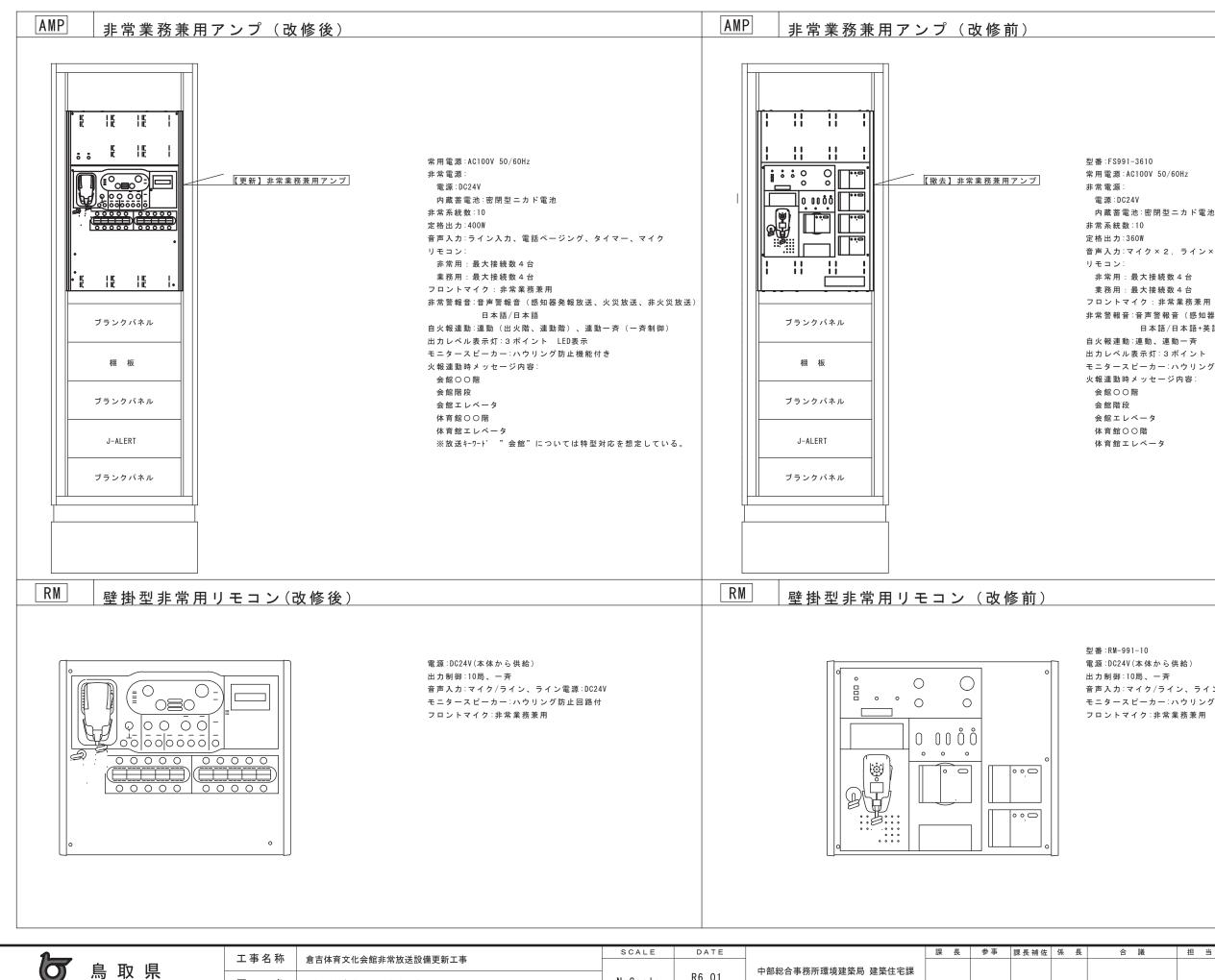


						中部環境	竟建築
合 議	担	当	年	度	所課コード	施設コード	図面 N o .
			R0	5			E – 07

鳥取県

令和5年度

2. 指示なき配線配管及び機器シンボルは既設再使用とする。



中部総合事務所環境建築局 建築住宅課

R6.01

NoScale

¥

名

機器参考姿図(改修前・後)

内蔵蓄電池∶密閉型ニカド電池 音声入力:マイク×2, ライン×3 非常警報音:音声警報音 (感知器発報放送、火災放送、非火災放送) 日本語/日本語+英語 出カレベル表示灯:3ポイント LED表示 モニタースピーカー:ハウリング防止機能付き

音声入力:マイク/ライン、ライン電源:DC24V モニタースピーカー:ハウリング防止回路付



合 議	担当	年 度	所課コード	施設コード	図面 N o .
		R05			E – 08

## 県営住宅福守第一団地住宅用火災警報器更新工事

	図 面 リ ス ト						
Νο	N o N A M E						
E-01	表紙・図面リスト	No Scale					
E-02	電気設備工事特記仕様書(1)	No Scale					
E - 0 3	電気設備工事特記仕様書(2)	No Scale					
E-04	県営住宅福守第一団地案内図・配置図	1/500					

1	工事名称	県営住宅福守第一団地住宅用火災警報器更新工事	SCALE	DATE	中部総合事務所環境建築局 建築住宅課	課長	参事	課長補佐 係 長	合議	担当	年 度 所課コード	施設コード	図面 N o .
一下 电 帀 個	工事有你	宗呂住七福寸另一凹地住七用久灭言報	No Scale	R06.05									
♥ 局取県	図 名	表紙・図面リスト									R06		E - 01



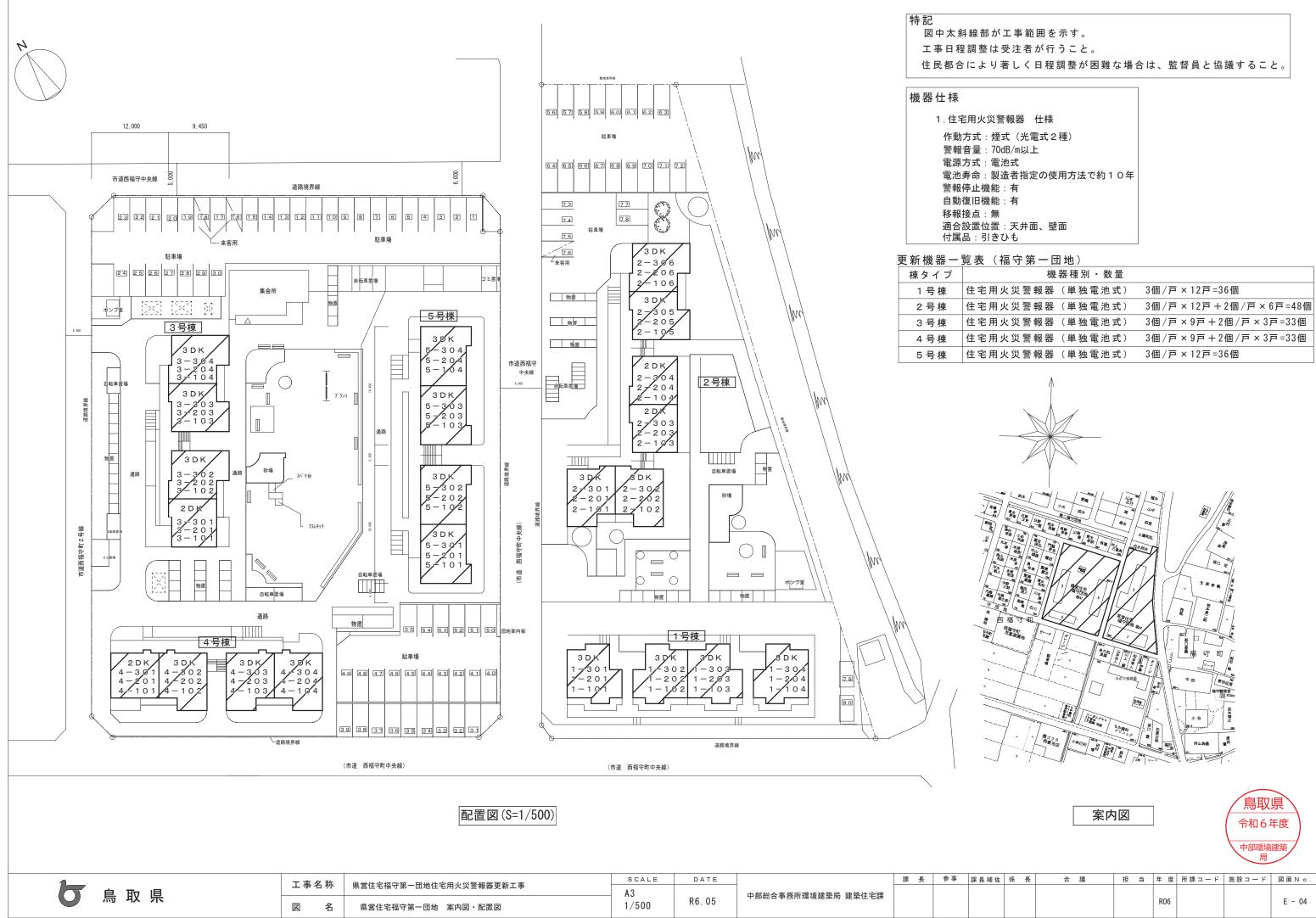


電:	気 設 備 工 事 特 記	仕様書		項目           電流電源装置		特 記 事 項 電源および受変電設備制御電源共用		また、製造者等が定められてい	、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとす る機材については、皿.機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、 場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじ る。
I. 工 事 概 要	ᆂᆓᇃᆠᇑ			)   歳  設   ● 交流無停電電源装置   備   (UPS)	<ul> <li>蓄電池</li> <li>HS形鉛蓄電</li> <li>形式</li> <li>標仕によるUI</li> </ul>		共 通 ⑦ 機材の品質・性能証	評価書の写しを監督職員に提出	行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合 するものとする。 島合は、標準仕様書第 1 編第 1 章第 4 節 1. 4. 2(2)の品質及び性能を有するこ
1 工事場所 <u></u> 2 建物概要				備 (UPS) ●自家発電装置 発	用 途 ● 電算機用 ( 電気方式 三相3線式 ● ( 機 器 類 形 式 ● キュ		⑦ 機材の品質・性能証 事       項       ③ 施     工       図       ③ 完     成	の証明となる資料の提出を省略 等 提出した施工図等の著作権に係	給合は、標準性様害第1編第1草第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有するこ することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成結書等は除く わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、
番 <u>号</u> 建物名称 1 2 3 4		約5年令別表第一の区分 )項 )項 )項 )項 )項	備 考	た 電 設 備 ● 太 陽 光 発 電 装 置 ● 風 力 発 電 装 置	発電機(  k	<ul> <li>VA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン</li> <li>● 鉄板製(●本工事 ● 別途工事)</li> <li>● 薄膜 ●</li> </ul>			撮影箇所         部数         電子データの提出           判         各工種工程毎         ※ 1部         ●         部         ● 要         ● 不要           判         監督職員の指示による         ※ 2部         ●         部         ● 要         ● 不要
5	1     2     3     4     5     屋外	)項 備考		<ul> <li>構内情報通信網設備</li> <li>構内 交換設備</li> <li>情 改表示設備</li> <li>・ 情報表示設備</li> <li>・ 映像・音響設備</li> <li>・ 拡声設備</li> </ul>	● マルチサイン装置 ● 出退	<ul> <li>電話機</li> <li>ボタン電話装置</li> <li>配管のみ</li> <li>配管及び配線</li> <li>表示装置</li> <li>時刻表示装置</li> <li>プロジェクタ</li> <li>スクリーン</li> <li>その他(</li> <li>)</li> </ul>	- ①完成 図	等次の図書を工事の完成引渡し時 区分 ※ 完成図原図	に監督職員に提出する。 <u>名称</u> 部数 完成図 • 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 • 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ
<ul> <li>電灯設備</li> <li>動力設備</li> <li>電熱設備</li> <li>電保護設備</li> <li>・電欠変電設備</li> <li>・電力貯蔵設備</li> <li>・電力貯蔵設備</li> </ul>				<ul> <li>通</li> <li>・誘 導 支 援 設 備</li> <li>・デレビ共同受信設備</li> <li>・監 視 カ メ ラ 設 備</li> <li>・駐 車 場 管 制 設 備</li> <li>・防犯・入退室管理設備</li> </ul>	<ul> <li>         ・ 音声誘導装置         ・ 身体障害         ・ インターホン         ・ テレビイ         ・ アンテナ         ・ UHF         ・ カメラ         ・ ビデオモニタ         車両検知方式         ・ 光線式         ・         ・         ・</li></ul>	<ul> <li>者用インターホン装置</li> <li>● トイレ等呼出し装置</li> <li>ンターホン</li> <li>● ナースコール</li> <li>BS</li> <li>● CS )</li> <li>● CATV</li> <li>● タイムラブスVTR</li> <li>● 配管のみ</li> <li>● 配管及び配線</li> </ul>		<ul> <li>※ 完成図書</li> <li>※ A4版市販ファイル</li> <li>● A4版黒表紙製本</li> <li>※ 保守用説明書</li> <li>A4版ファイル</li> </ul>	-   ●
<ul> <li>・発電設備</li> <li>・構内情報通信網設備</li> <li>・構内 安換設備</li> <li>・構内 交換設備</li> <li>・情報表示設備</li> <li>・映像・音響設備通</li> <li>・拡声設備</li> </ul>				火         ・         自動火災報知設備           ・         自動閉鎖設備           ・         非常警報設備           ・         ガス漏れ火災警報設備           中制         ・	<ul> <li>・ 受信機(・ P型・ R型 連動制御器(回線・単3 複合装置・一体形(※一系 受信機(回線・単独</li> <li>・ 一体形(※、一系 受信機(回線・単独)</li> <li>・ 警報盤・表示操作盤</li> </ul>	<ul> <li>● 火報受信機と一体 ) 感知器 (● 共用 ● 専用 )</li> <li>型 ● 防雨型 ) ● 単独</li> <li>● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用 )</li> </ul>	11 他 工 事 と の 取 合	ν Γ	1     部       1     部       1     部       1     部       1     部       資表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。         事との取合い     電気設備機械設備 建 3       補強・     ・
<ul> <li>誘導支援設備</li> <li>テレビ共同受信設備</li> <li>整視カメラ設備</li> <li>●監視カメラ設備</li> <li>●駐車場管制設備</li> <li>●防犯・入退室管理設備</li> <li>●火災報知設備</li> </ul>				+ min - n - c - c - c - c - c - c - c - c -	<ul> <li>動力設備</li> <li>受変電設備</li> <li>アナログ方式</li> <li>デジタル</li> <li>三相3線式(• 6. 6kV</li> </ul>	<ul> <li>● 自家発電設備</li> <li>● 防災設備</li> <li>● 照明制御</li> <li>● 給排水設備</li> <li>● 空調設備</li> <li>方式</li> </ul>		<ul> <li>軽量鉄骨壁のボックス取付</li> </ul>	通部     スリーブ・箱入     ※     ●     ●       ・     ・     ・     ・       ルト用インサート(くぎ処理共)     ※     ●     ●
<ul> <li>中央監視制御設備</li> <li>医療関係設備</li> <li>構内配電線路</li> <li>構内通信線路</li> <li>テレビ電波障害防除設備</li> </ul>				線 路 ●外灯点滅方式 構信 内線 通路 ●施工方法	<ul> <li>手動</li> <li>自動(●タイマ</li> <li>電話用</li> <li>時計拡声用</li> <li>地中埋設式</li> <li>架空線式</li> </ul>	<ul> <li>         ・ 自動点滅器         ・ 中央監視         ・         ・         ・</li></ul>	-	<ul> <li>○ A フロア・フリーアクセ</li> <li>・ 埋込形機器取付用の天井、</li> <li>・ 自動開閉装置を取付ける防</li> <li>・ 電気室、自家発電機室など</li> <li>・ 機器付属の制御盤及び操作</li> </ul>	スフロアの切込み及び補強     ・     ・     ※       壁の下地材・仕上げ材     切り込み     ※     ・     ・       煤面 強     ・     ※     ・     ・       火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ     ・     ・     ※       の基礎及びビット(蓋を含む)     ・     ・     ※
<ul> <li>機械設備工事</li> <li>建築工事</li> <li>4 設備概要 (本エ専 <ul> <li>の付いたものを適用</li> </ul> </li> </ul>	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			Lipe add         ・ ガ         ホ         ク         ホ           1         ・ ガ         日         ・ ガ         兄           1         ・ 株         ・ 市         ・ 項         ・ 項           (1) 現場説明書、質問回答書、         ・ 質         ・ 質         ・ 第         ・ 項	<ul> <li>● 各戸の保安器一次側</li> <li>●</li> </ul>	→ 共同交信力式(● 共同アンテア ● 距内用アンテア用) ない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、④ 印			チ(空調機、給湯器等)の取付及び記線     ・     ※     ・       基     礎     ・     ・       アンカーボルト     ※     ・     ・       ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・       ・     ・     ・     ・
項目           電気方式           灯           ・非常用照明器具	特         記           幹線         ● 単相3線式100/200V         ● 直流2線式1           分岐         ● 単相2線式(● 100V         ● 200V)           光源         ● LED         ●蛍光灯         ● 自熱灯	0 0 V	<ul> <li>電源別置形</li> </ul>	<ul> <li>① 公共建築改修工事標準[</li> <li>① 公共建築設備工事標準[</li> <li>① 公共建築設備工事標準[</li> <li>(2)国土交通省大臣官房官庁営業</li> </ul>	仕檪書(電気設備工事編)(令和4 図(電気設備工事編)(令和4年版 繕部監修の「電気設備工事監理指針	(以下、「標準仕様書」という。) F版 (以下、「改修標準仕様書」という。) (以下、「標準図」という。) (令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。 及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。	(2) 工事用電力・水・その (3) 表 示		屋内・屋外設置         ※         ●         ●           屋上設置         ●         ●         ※           及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。         。         ・         ※           。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する)         ●         お願い表示板
備     ・誘     導     灯       動力 設備     ・電     気     方     式       雷     ・受     雷     部	<ul> <li>・ 避難口</li> <li>・ 階段通路</li> <li>・ 廊下通路</li> <li>・ 室内通路</li> <li>・ 室内通路</li> <li>・ 単相2線式200V</li> <li>・ 単相2線式(00V</li> <li>・ 単相2線式(00V</li> <li>・ 単相2線式(00V)</li> <li>・ 単相2線式(000)</li> <li></li></ul>	● 単相3線式100/2	200V	● の付かない場合は、※	項は ④ の付いたものを適用する。 印の付いたものを適用する。 ④ と	⑧の付いた場合は共に適用する。 15,35)項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。		建築工事 工事名 ○○○○○○新築工 構造・規模 鉄筋コンクリー 延不調相のペロク月から 取計者 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	・地色         ・地色         ・地色           マル私記号         アル私記号         アル私記号           ト造 O開造         0002         002           D年の月まで         (拡大カラーコビーを張り付けてもよい))         (拡大カラーコビーを張り付けてもよい)
保護 ●避雷導線 ●接地極 ●電気方式	<ul> <li>● 建築構造体利用 ● 引下げ導線</li> <li>● 建築構造体利用 ● 接地極埋設</li> <li>高圧 三相3線式 6.6 k V</li> </ul>			項 目 ① 官公署その他への手続 2 電 気 保 安 技 術 者	工事現場におく電気保安技術者は	特記事項           の他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。           、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者           期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。		C-     ビ理者 〇〇環境建築局建築     O〇〇〇〇〇〇数計     施工者 〇〇〇〇〇2数計     施工者 〇〇〇〇〇2     夜間 〇〇一〇〇〇     夜間 〇〇一〇〇〇     現場責任者 〇〇 〇〇     島取県〇〇紀合事務所環婚譜	● 事業協力的         ● 事業協力的           00
<ul> <li>契約電力</li> <li>変</li> <li>電</li> <li>設備方式</li> <li>酸器類</li> </ul>	<ul> <li>低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100/21</li> <li>改修工事 既存設備 ● kW</li> <li>新営工事 ●100kW未満 ●100kW以上500k</li> <li>■屋内形 ● 屋外形</li> <li>●キュービクル式配電盤(●PF形 ●CB-1形 ●CB</li> <li>高圧スイッチギア、変圧器盤(CB-3形)</li> <li>変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 5</li> <li>主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB</li> </ul>	W未満 ● 5 0 0 k W以 :B — 2 形)		ー 段 共 ③ 電 気 エ 事 士 4 工 事 安 全 計 画 書 等 ⑤ 発生材の分析及び処理 事 項	なお、電気保安技術者の資格は構 工事についても、自家用電気工作 契約電力500kW以上の場合に 建設工事公衆災害防止対策要綱及 引渡しを要するもの ※ 無し 引渡しを要するもの以外は、 特別管理産業廃棄物 ※ 無し	<ul> <li>単仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る 物の場合と同様の素務を行うものとする。</li> <li>おいても、第1種電気工事士により施工を行う。</li> <li>び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。</li> <li>有り())</li> <li>備外搬出適切処理とする。</li> <li>有り</li> <li>本工事において調査を行う</li> <li>スペスト含有設備資機材(● 配線用遮断機●)))</li> </ul>	14 足		000     工事期間中は、ご達感をおかけしますが、ご環解と ご協力よろしくお願いします。       第二日、1000002度 支援先、TEL 000000 免活 角取県 運業先、TEL 00000000000 免活 角取県の008台事務所環境建築局 工EL 000000000000000000000000000000000000
	┣ 鳥取県	工事名称		]地住宅用火災警報器更新工事	撤去予定機器の微量 P C B 分 S C A No S C	- E DATE 中部総合事務所環境建築局 建築住:		長補佐係長合	通     担当年度所課コード施設コード図面N       R06     E-
		図名	電気設備工事特記仕	.様書(1)	NO 50				



	◯ 鳥取県							2課				R06	I	E -
		工事名	称 県営住	宅福守第一団	地住宅	用火災警報器更新工事	SCALE DATE	H	課長参事課長	補佐 係 長	合議	担当年度所課二	<u>」ート   施設コ</u>	<u>ート 図面</u>
					設備		撤去予定機器の微量 PCB分析 ※ 無し ・ 有り		·	法任 压 目	<u>ک</u> ;*	HI W /도 쨘 닭 프 -		局
	<ul> <li>作業場の養生として、処理場所をフラスティックシー 対象箇所())</li> </ul>	「守て囲い、外部	、の初しん飛艇を防止す	" <b>ଧ</b> ତ	9 映像音響		光出力(● I形 ● II形 ● II形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形) コントラスト比(● X形 ● Y形)		小林制電 勝英産業			:オートメーション 岡 電 機 製 作 所	\	中部環境建築
	<ul> <li>洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設</li> <li>作業場の養生として、処理場所をプラスティックシー</li> </ul>		への粉じん歌物た叶レナ	· <b>A</b> .	UH		太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)		(株)永井電機工 : 小林制電			木 電 機 産 業	令	命和6年度
	<ul> <li>アスベスト粉じん濃度測定を行う。</li> <li>(測定時期: 測定場所:</li> </ul>		測定点:	)	表示設備	3 時 刻 表 示 装 置	親時計(● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線) 太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)	1	を材料・設備機材等品質性能評価 おただし、盤類は上記によるほか					鳥取県
	分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスペ ■ アスズスト粉じん漂産測定を行う	スト含有率測定方ネ	去」による。		情報	2 西 逸 农 不 装 置	<ul> <li>制御装置(● 壁掛彩 ● 埋込形 ● 据置形)</li> <li>呼出機能(● 有 ● 無)</li> <li>方式(● 発光ダイオード ● 液晶 ● )</li> </ul>		工事に使用する機器及び材料は、			として標準仕様書に規定するもの		$\frown$
	<ul> <li>(分析によるアスベスト含有建材の調査)を</li> </ul>		ム りに登 りい に打 り。		8		イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない ) 創細特徴 (▲ 職規取 ● 押以取 ● 提供取 )	Π.	. 機 材					
	※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労 関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害			処理及び清掃に			nggauxe (- ⊑⊪ on v.o ni • ) (∞ iom • )		2 エ事のため送電線及び配電	息の近くで作業する	>ときは、事前に中国電力に逮	絡し、事故防止に努めるものとう	する。	
	※県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度によ	る登録業者を活用す	するものとする。				● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ● )(※15m ● ) ● I P電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ● )(※15m ● )		声 壁付アッテネータ	"	1, 300	知		
							<ul> <li>内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C) ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m) ●</li> </ul>			床上~中心	天井高×0.9	検 <u>"(LPガス)</u>	床上~上端	300
	建材の内容・箇所		処理を行う範囲		備	6 電 話 機 へ の 配 線	卓上電話機1台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ● )(※15m ● )		気   子時計  計	"	天井高×0.9	ガ     ガス漏れ中継器       ス     検知器(都市ガス)	天井下~中心 天井下~下端	300
9 アスベスト含有建材の処理	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	慮改修工事 1節 7	石綿含有建材の除去工事	による。	設		● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台		電壁掛形親時計	床上~中心				
結 露 防 止	外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックス	は保温、結露防止り			交換	4回線数 5電話機	内線 / 回線 局線 / 回線 (現用/実装/容量) ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台		換 " (和室)	"	150	報     ベル       知     表示灯	天井下~上端 //	200
「屋上、屋側の支持金物等」	(その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 また ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものと		= 1 2 0 0 とする)		内	3壁付電話機との接続	※ モジュラージャック ● 電話用プレート		内 壁付アウトレット	床上~中心			床上~中心	800~1,
	(E <sub>D</sub> , E <sub>D</sub> , E <sub>D</sub> , E <sub>D</sub> , E <sub>L</sub> , E <sub>0</sub> の場合、EBはD=10 (その地単独の場合、EBはD=14, L=1500, また)			00 以上とする)	構	2 保 安 器 用 接 地			構保安器箱	床上~下端 天井下~上站		受信機・副受信機           火         機器収容箱	床上~操作部	800~1,
	(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または V	V=40 L=12	1 0 0 とする)		7		<ul> <li>ダイレクトインダイヤル方式</li> <li>ダイレクトインライン方式)</li> <li>停電補償時間(分)</li> </ul>		端子盤	床上~下端	300	 受信機・副受信機	床上~操作部	1,500
	● 測 定 用 <b>E</b> 。	-	EB×1			1交換装置	局線応答方式( ● 局線中継台方式   ● 分散中継台方式   ● ダイヤルイン方式	1	カ 操作スイッチ	"	1, 300	- 同 受 信		
	<ul> <li>電話引込口の保安器用</li> <li>E し t</li> </ul>	1002以下	EB×1			3風力発電装置 	系統連系(●高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力( kW)		壁掛形制御盤           動         手元開閉器	床上~中心	1,500(上端1,900以下) 1,500	- レ <u>テレビ端子</u> ビ 共 " (和室)	床上~中心	300
	● 通 信 用 E <sub>At</sub> ● 通 信 用 E <sub>Dt</sub> 及びE <sub>Da</sub>	10Ω以下 100Ω以下	EB×3連-2組 EB×1				表示装置(●有 ● 無) 方式(※ 液晶 ● )					テー 機器収容箱	天井下~上端	-
	• 交換機用 E <sub>t</sub>	Ω以下 1.00NT	EB×3連-1組				パワーコンディショナ( 相 線式 V) 定格容量( kW) 自立運転機能( ● 有 ● 無)		// (踊場) // (鏡上)	// 鏡上端~中(	2,000~2,500 ù 150	1		
	● D 種 E D ●高圧避雷器 E L H	100Ω以下 10Ω以下	EB×1 EB×3連-2組					他	灯 ブラケット (一般)	"	2, 100~2, 300	-		
	C 種 E <sub>c</sub> D 種 E <sub>b</sub>	100以下	EB×3連-2組 EB×1			2 太 陽 光 発 電 装 置	(本)	D	// (工間)		900	- 導 壁付押ボタン(多機能トイレ)	-	300
	•в 種 <b>Е</b> в	10 <u>2</u> 以下					掠気系統配管断熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない ) 掠気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (d B以下)		// (台上)	台上~中心 床上~中心		壁付インターホン(上記以外)           壁付押ボタン(多機能トイレ)	-	1, 300
	●共同接地         E_A E_c E_D           ●A         種         E_A	10Ω以下 10Ω以下	EB×3連-2組 EB×3連-2組				燃料油等(● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス( ))	<del>ر</del>	電 " (和室)	"	150	外部受付用インターホン(子機		図による
		100以下			備		<ul> <li>燃料小出槽( ぽ):返油ボンブのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。</li> <li>材質( ● 鋼板製 ● ステンレス製)</li> </ul>	16	パ (多機能トイレ コンセント (一般)	) "	1, 100			<u> </u>
以 地 悭	接地極の材料は次による。 接地の種類 記号	接地抵抗值	接地	極	設	<ul> <li>● 燃料電池発電装置</li> </ul>	据付:機械設備工事標準図(● 施工30、32(タンク室無し) ● 施工31、33(タンク室有り))		スイッチ	"	1, 300	電源箱	床上~下端	300
接 地 極	版」((一財)日本建築センター)を参考にする。 接地極の材料は次による。				電	<ul> <li>熱併給発電装置</li> </ul>	オイルタンク (● 地下 ● 屋内 )		分電盤・OA盤・実験	盤 床上~中心	1,500 (上端1,900以下)	一         二         二		1, 300
	3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と			工指針2014年	発	<ul> <li>ガスエンジン発電装置</li> <li>ガスタービン発電装置</li> </ul>	保安装置 ( 重故障項目特記 ● 有 ● 無 ) 外部用端子 ( ● 要 ● 不要 ) 減圧水槽及び初期注水槽の材質 ( ● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製 )		ガンガン開閉器 通	地上~中心	1, 800~2, 200	- 表 壁付発信器 ベル、ブザー、チャイム		1, 300
	<ul> <li>火災報知受信機</li> <li>中央監視制御装</li> <li>2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、</li> </ul>			)	6	<ul> <li>● ディーゼル発電装置</li> <li>■ パラー・Xi の一時間</li> </ul>	出力 ( kW) 配電盤外箱 (●有 ● 無 )		■ 取引用計器 力	地上~窓中(		表示盤	床上~中心	天井高×
	重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● ろ			S装置 、		1 自 家 発 電 装 置	 運転時間( h) 系統連系( ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 )	1	機器取り高は下記を標準と 名称	る。/こ/こし、天子 測点	取付高(mm)	使用に文庫がめる場合は監督戦り 名称	ąと励識9 る。 測 点	取付高(m
	水槽類には燃料小出槽を含む				電力貯蔵 設 備		方式 ( ● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式 )		<ol> <li>1 機器取付高</li> <li>機器取付高は下記を標準と</li> </ol>	る。ただし 王士	井高3m以上の場合及れ機果の	)使用に支障がある場合は監督職員	員と協議する.	
	上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当し		: 上層3階、13階以上:	上層4階	5 雷力貯蔵	(UDC)		査	4 報告書提出部員	x   ※ 事前 3	部 ● 中間 部 ※ 3	事後 3 部		
	水 槽 類	1.5	1.0			□ <u>○ 座</u> 凶 照 明		障 害 調	<b>χ ±2</b> /+ στο ±π ··· ±− ·	中継		事後 つか		
	1         1	1.0		0.4		<ol> <li>2 デマンド監視装置</li> <li>3 盤内照明</li> </ol>		波受信	3 受信する受信波及び地点					
	水 槽 類 機 器		1.0 0.6	0.6	4	1 変 圧 器 移 動 車 輪		レビ電法	2 テレビ電波受信障害調査時	を受けるもの 月 ※ 事前	のとする。 ● 中間 ※ 事後			
	中 間 階 防振支持の機器	1.5	1.5	1.0	雷保護 設 備	2 外部雷保護設備接地システム	<ul> <li>構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極</li> </ul>	15 7		及び「建造物	物によるテレビ受信障害調査要	領(地上デジタル放送)」の最新		
	水 槽 類 機 器		1.5	1.0 0.6	3		<ul> <li>工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。</li> </ul>	TH4	3標識シー 1調査仕 <sup>3</sup>	-	線 ● 電話 ● CAT	✓ ● (一社)日本CATV技術協会の	「建造物によるテレ	/ビ受信障害調
	上層階         防振支持の機器           屋上及び塔屋         防振支持の機器	2.0	2.0	1.5	動 力設備			信線路		ホールに準し	じて行う。アスファルト舗装面	iに使用するハンドホール及び鉄動		
	機器	里安俄器	一般機器 重要機器 1.5	· 一般機器 1.0	2	1機器への接続	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事	構内通	2 地 中 第		● GL-600以上( ● 示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥	● ) → → か県章、及び用途を記入)とし、	ハンドホール肉の	)ケーブル支持
	設計用標準水平震度 設置場所機器種別	<ul> <li>● 特定</li> <li>重 亜 勝 哭</li> </ul>	の施設 一般機器 重要機器	一般の施設	備		調光制御点灯時( ※ 夜間   ※ 昼間 )	14	1施工方;			ある場合は路盤下-300以上。	とする。	
	1) 機器の協行に及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量 [kN]に、地域係数と	次に示す設計用標 <sup>2</sup>	準水平震度を乗じたもの	とする。	設		貝の19 m による。 照度測定時期 100%点灯時(※ 夜間 ● 昼間)		7照明用ポー /		レには配線用遮断器(トリッフ デンライトは除く。	<sup>°</sup> 機能なし)又はカットアウトス・	イッチ(素通しヒュ・	ーズ)を内蔵
	者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではな 1)機器の据付け及び取付け	<i>د</i> ،			灯	4照明制御の照度測定等	明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職 員の指示による。		5 高圧リーフルの産外端未処 6 標 識 シ ー					
5时震施工	2011年1月1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1			について、製造	電	<ol> <li>2 設照明の照度測定</li> <li>3 非常用照明の照度測定</li> </ol>	////////////////////////////////////	線路	4 高 圧 ケ ー ブ ル の 端 末 i 5 高圧ケーブルの屋外端末処3			〔 (熱伸縮テープによるシースずれ)	h止め対策等)を行	う。
<sup>3</sup> カバープレートの表示 <sup>1</sup> プルボックスの塗装	シール等を貼付し、用途を表示する。 ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無 (素地仕上)	●有(指定色付	±上)		1	2 一 般 照 明 の 照 度 測 定	LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色 ) 測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)	内配電		※ 別置制御	装置までの制御ケーブルを付け			
2 フラッシュプレートの材質	<ul> <li>● 金属製(ステンレス、新金属も含む)</li> <li>● 樹脂製</li> </ul>					1 照 明 器 具	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。	- <sup>13</sup> 構	3高圧負荷開閉	<ul> <li>閉鎖形(</li> <li>避雷器内</li> </ul>		<ul> <li>・ 地絡継電器付(※)</li> </ul>	方向性 ● 無方向	句性 )
0 露出配管の塗装(付属品含む) 1 波付硬質合成樹脂管(FEP)	参装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は		<ul> <li>● 居室()</li> </ul>	•		37 建築物省エネ法	本工業 (1) 本 (1) + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 +	12	2地中 3			b取県章、及び用途を記入)とし、 iに使用するハンドホール及び鉄計		
	する。					36 鳥取県公共事業環境配慮指針						車路 ● 高圧配線 ● 幹		)
屋外露出配管の仕上げ	更してもさしつかえない。	融亜鉛めっき仕上(	f[めっき付着量 30↓	0g/㎡以上] と		(35)火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)	<u> </u>	1施工方;	、 埋設深さ ※		のある場合は路盤下一300以上。	とする。	
3 電 線 本 数 ・ 管 路 等	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電	線太さ、電線本数、	管径などは監督職員の	承諾を受けて変	項	34 室内空気中の化学物質の濃度測定		設備	3 ガス漏れ火災警報設(		<ul><li>ッター用(※別途工事</li><li>天井取付形</li><li>● 壁取付形</li></ul>			
	盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハ				事		試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	災 報 知			パー用(※電動復帰●			
	通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS				 通		確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜きカ以上	(12)	(1)自動火災報知設 2 自動閉鎖設		P型 1 級25回線(蓄積型))  ( ※ ラッチ式 ● 電磁式	<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	自独電池式)	
)電線 類	本工事では環境配慮の観点から、原則として EMケーブル EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を				般	33 あと施工アンカー	<ol> <li>1)施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験</li> </ol>	誘 導支援						
		博内敷さならし	<ul> <li>         ・ ・ ・</li></ul>	虹に堆損	1	32 はつり工事における非破壊検査	探查方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●	11	1 音 声 誘 導 装 1	1 検出方式 (	<ul> <li>● 磁気方式 ● 無線方式</li> </ul>	<ul> <li>画像認識方式 )</li> </ul>		
	建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処埋 ※	株内勘もわらし	・ 株内の北二十7月;	ディー ## ##	I – I	Let a serve a server a server a		設備	1	1				

				-		
長	合 議	担当	年 度	所課コード	施設コード	図面 N o .
			R06			E – 03



工事範囲を示す。		
受注者が行うこと。		
・ 皆しく日程調整が困難な場合は、	監督員と協議すること。	

報器	仕様
、(光電	<b>電式2</b> 種)
B/m以_	E
1式	
者指定	≧の使用方法で約10年
有	
有	
<b>T</b> # 7	

ā守第一団地)	
機器種別・数量	
、災警報器(単独電池式)	3個/戸×12戸=36個
、災警報器(単独電池式)	3個/戸×12戸+2個/戸×6戸=48個
、災警報器(単独電池式)	3個/戸×9戸+2個/戸×3戸=33個
、災警報器 (単独電池式)	3個/戸×9戸+2個/戸×3戸=33個
(災警報器(単独電池式)	3個/戸×12戸=36個

係	長	合 議	担	当	年 度	所課コード	施設コード	図面 N o .
					R06			E - 04